

東京 浅草にて、訪日観光客を対象とした 「携帯型多言語同時ガイドシステム」の 実証実験が行われました

[2017/2/15]

阪急交通社グループのエアサーブは、フュートレックと共同で開発した「携帯型多言語同時ガイドシステム」の実証実験を、2017年2月3日（金）、東京 浅草にて中国とイタリアからの観光客の方を対象に行いました。

言語の異なる総勢 34 名の訪日観光客に、浅草の雷門から仲見世・浅草寺で「携帯型多言語同時ガイドシステム」をご利用いただきました。

ガイドが携帯する「発信機」の画面で観光案内をスタートすると、観光客の方々は首から提げたイヤホン付「受信機」で選択した言語の観光案内を聞きながら、周辺の散策をされました。

<参加いただいたお客様のお声>

◆中国からのお客様

「通常は自由行動とショッピングが中心になるけど、自分が歩いている周辺の建物の歴史や背景について解説が聞けて、これはいいね」

◆イタリアからのお客様

「日本の観光地は人が多すぎて、ゆっくり見て歩くのも大変だけど、まさかイタリア語で解説が聞けるなんて驚きだね。他の外国人にもお勧めだね」
などの声が聞かれました。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

<取材を受けた報道機関数>

◆5社



<仲見世を歩きながら>

以上